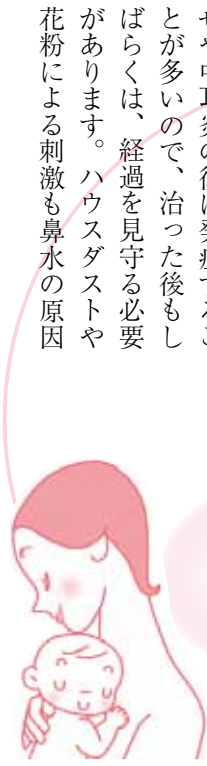


子育てのポイント 105

Q 鼻水がひどく鼻詰まりがひどいので、どうすればよいでしょうか。

A 小さな子は、鼻が詰まりやすいので、少しの鼻詰まりでも風邪をひいていないかと心配ですね。鼻詰まりは、鼻を温めると楽になります。例えば、食事やお昼寝の前などには、温めたタオルを鼻にあてたり、シンクや洗面器にお湯を張って、その上で呼吸をさせたりすると、鼻が通りやすくなります。また、鼻はこまめにかむ習慣づけがたいせつです。3歳以上になれば、自分で鼻がかるようになりますので、かみ方を練習し、身につけるようにしましょう。その他に子どもがかかりやすい鼻の病気には「副鼻腔炎」があり、黄色い鼻汁や強い鼻詰まりの特徴があります。かぜや中耳炎の後に発症することが多いので、治った後もしばらくは、経過を見守る必要があります。ハウスダストや花粉による刺激も鼻水の原因

開成町子育て支援センター
82-11222



町の表彰 受章おめでとうございます

町では1月5日(土)に福祉会館多目的ホールで、町表彰式を開催します。この表彰は、町政振興に寄与し、または広く町民の模範となる行為をされたかたを表彰するものです。(敬称略)

1 功勞表彰 (功勞章)

小野 正(中家村) 消防団員 山内 正幸(牛島) 消防団員 武藤 さかえ(金井島) 交通指導隊員
坪井 一郎(円中) 学校歯科医

2 一般表彰 (善行章)

下澤 光三(上島) 地域発展 小澤 進(上島) 地域発展 佐藤 三郎(河原町) 地域発展
井上 城司(中家村) 地域発展 日本製紙クレシア(株)開成工場 地域発展
末藤 峰夫(下延沢) 選挙管理委員会委員 小林 真一(上延沢) 消防団員 小野 陽一(中家村) 消防団員
倉橋 敏行(金井島) 交通指導隊員 齋藤 務(宮台) 交通指導隊員 小松 美露(下島) 統計調査員
神田 富男(下延沢) 町政振興

3 感謝状

【金員寄附】瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会 中原 康雄(小田原市)
【備品寄附】相日防災株式会社(小田原市) 中栄信用金庫(秦野市)

4 芸術・文化・スポーツ奨励賞

小野 拓哉(上島) 第63回全日本大学バスケットボール選手権大会出場
高島 英里(金井島) 第39回全日本学生スカッシュ選手権大会出場
高島 亮(金井島) 第67回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会出場
佐藤 拓馬(上延沢) 第67回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会出場
永田 萌(下島) USA Spirit Nationals in Japan 2012(全国大会) Songleading/Pom Dance部門第2位
ALL JAPAN CHEER DANCE(全国大会) チアダンス高校生部門第4位
炭田 紗江(上延沢) 第36回全国高等学校総合文化祭 新聞専門部年間紙面審査賞最優秀賞(第1席)
第41回全国高等学校新聞コンクール 大東文化大学学長賞(第3席)
遠藤 優(上延沢) 第36回全国高等学校総合文化祭 新聞専門部年間紙面審査賞最優秀賞(第1席)
第41回全国高等学校新聞コンクール 大東文化大学学長賞(第3席)
中村 玲菜(中家村) 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会関東地区予選会優勝
関東ジュニア柔道体重別選手権大会第5位入賞
山崎マーク龍也(上島) 秩父宮賜杯第65回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会北関東・南関東地区予選会出場(砲丸投)
森 一馬(上島) 第28回日本身体障害者水泳選手権大会S8クラス男子50メートル背泳ぎ第3位
遠藤 由香莉(上島) 全日本ジュニアテニス選手権大会出場、第30回全日本小学生テニス選手権大会出場
関東ジュニアテニス選手権大会出場
石井 蓮(金井島) 全日本ジュニア体操競技選手権大会出場、東日本ジュニア体操競技選手権大会出場
露木 元太(中家村) 全日本ジュニア体操競技選手権大会男子Bクラス跳馬第1位
柏木 啓那(宮台) 第13回キッズコロシアン大会(関東小学生陸上クラブ交流大会) 女子4年ソフトボール投げ第2位

5 特別奨励賞

フレンドウィン開成 木村 ゆい、今井 かおり、栢沼 純奈、加藤 富貴
「第43回交通安全こども自転車神奈川県大会」団体第3位
開成南スカイチーム 近藤 雄斗、小林 麟太郎、田原 蓮、加藤 舜也
「第34回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」団体優勝
開成プラネットチーム 佐藤 幸輝、小沼 幸暉、大胡田 陸斗、菅野 航
「第34回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」団体準優勝

七 歳の子どもの読書量が二
十年後のイギリスの存在
価値を決める」

読 書の研修会で耳にしたイ
ギリスのブレア前首相の
ものといわれる言葉が、鮮烈に
心に残りました。これは政治家
の言葉ですが、「国家の存在価
値」は、そのまま「その人の人
生力」と置き換えられるように
感じました。

私 は文命中学校で「学校図
書館」の担当をしています。
昼休みの図書室には、夢中で好
きな本を読みふける生徒、本棚
に向かい本を探る生徒、「こん
な本はないでしょうか。」と司
書の方に相談する生徒など、本
が大好きな生徒たちの姿がたく
さん見られます。昼休みの終わ
りの予鈴チャイムが鳴ると、名
残惜しそうに図書室を後にして
いきます。

本 校では、朝の会の後十分
間を「朝読書」の時間帯
に設定し、学級ごとに生徒、教
師と一緒に読書に浸っています。
アンケートでも、多くの生徒が
「朝の読書は楽しい。」と答えて
います。

今 、たくさんの本に囲まれ、
何でも読める時代に思わ

れますが、困ったこともありま
す。あまりに本があふれすぎ、
「本を選ぶ」ということが、逆
に困難になってきているのです。

私 は、よい読書のためには、
これからは「質の良い読
書情報」が、一つの柱になると
考えています。

国 語科の指導の中で、生徒
同士が「友達に紹介した



い一冊」について表現する学習
があり、興味深い本がたくさん
挙げられていました。十月の秋
の読書週間には、本校職員のお
薦め読書リストを作成し紹介し
ました。豊かな読書体験のため
に、ご家庭を始め、周りの大人
から、ぜひ「こんな本がよかつ
たよ。」と日常的に話題にして
いただけたらと思います。

作 家の田辺聖子さんは「読
書は実人生のほかに、さ
らに深い、美しい心の王国をも
たらすのであろう。」とおっ
しゃっています。冒頭の言葉に
戻りますが、「人生力」は、実
人生に寄り添い、支える「さら
に深い、美しい心の王国」があっ
てこそと思われま

こ れらを長い時間をかけて
じっくりと豊かに育む読
書体験を積み重ねていく環境作
りを、これからも教育現場、ご
家庭、地域の皆様と共に進めて
いけることを願っています。

